

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	鑑賞	図画工作から美術へ 美術で大切にしたい4つのかかわり	2～4	小学校での図画工作の学習を振り返り、中学校の美術の学習との関連性を考えながら、美術の学習活動に意欲的に取り組めるようにする。 【共】:形や色彩、材料、光などの性質及びそれらがもたらす対象のイメージを考えながら図画工作科と美術科の関連性を考える。	関:図画工作の学習を振り返り、美術の学習に関心をもつ。 鑑:掲載作品を鑑賞し、それぞれのよさを味わい、作者の意図を考える。	関:図画工作の学習を振り返り、美術の学習に関心をもっている。 鑑:掲載作品について、作者の意図を考えながら鑑賞し、思いを説明するなどして、それぞれのよさを味わっている。	関:図画工作の学習を振り返り、美術の学習に強い関心をもっている。 鑑:掲載作品について、作者の意図を考えながら深く鑑賞し、独自の視点から思いを説明するなどして、それぞれのよさを味わっている。	B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(4)
1	鑑賞	表現の始まり 見ること発見	5～7	身近な風景や対象物に対して、視覚や触覚などを意識してとらえることにより、よさや美しさを発見し、美術表現の多様さ、おもしろさを理解する。 【共】:身近な風景や対象物に対して、形や色彩、光の性質を考えながらイメージをとらえる。	関:視覚や触覚を意識しながら身のまわりの風景やものに関心をもつ。 鑑:光や色の美しさ、視点のおもしろさなどを考えながら鑑賞する。	関:視覚や触覚を意識しながら身のまわりの風景や、ものに関心をもっている。 鑑:光や色の美しさ、視点のおもしろさなどを考えながら意見を述べるなどして鑑賞している。	関:視覚や触覚を意識しながら身のまわりの風景やものに強い関心をもっている。 鑑:光や色の美しさ、視点のおもしろさなどを考えながら積極的に自分の意見を述べるなどして深く鑑賞している。	B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア (2)(3)
1	絵	心ひかれる風景 私のお気に入りの場所、そして時間	8～11	心ひかれた風景のよさや美しさを自分なりの表現で楽しく描く。 【共】:風景の形や色彩、光などの性質や描画材料の特徴を生かし、イメージをとらえて制作する。	関:風景画のよさや美しさに関心をもつ。 発:スケッチなどを通して風景のよさや美しさを見つけ、作品に生かした発想をする。 創:季節や時間などを表現できるような色彩、光の効果、構図を工夫し、作品を制作する。 鑑:作者の思いや意図を考えながら作品を鑑賞する。	関:風景画に関心をもち、よさや美しさなどを感じ取ろうとしている。 発:風景のよさや美しさなどを見つけ、主題を発想し作品の構想を練っている。 創:季節や時間などを表現できるような色彩、光の効果、構図を工夫し、材料を活用して作品を制作している。 鑑:作者の思いや意図を考えながら、作品のよさや美しさを味わい、意見を述べている。	関:風景画に強い関心をもち、よさや美しさなどをより深く味わおうとしている。 発:風景のよさや美しさを独自な視点で見つけ、豊かに主題を発想し、作品の構想を練っている。 創:季節や時間などを表現できるような色彩、光の効果、構図を独創的な視点から工夫し、材料を効果的に十分活用して作品を制作している。 鑑:作者の思いや意図を深く考えながら、作品のよさや美しさをしっかりと味わい、自分の意見を自分の言葉で明確に述べている。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、イ (2)(3)
1	絵	広がる形や色から 技法の発見から表現へ	12・13	偶然にできた形や色のおもしろさを生かしたり、さまざまな描画の技法を試したりするなど、工夫しながら発想や構想を広げて表現する。 【共】:材料の特徴や、さまざまな工夫によって偶然にできた形や色彩の効果を生かして、イメージを広げて表現する。	関:技法の工夫から生まれる形や色に関心をもつ。 発:さまざまな工夫や偶然にできた形や色から発想し、構想につなげる。 創:作者の意図が表現できるようにさまざまな技法を活用する。 鑑:作品に用いられた技法やその効果に注目して鑑賞する。	関:技法の工夫から生まれる形や色に関心をもとうと努力している。 発:さまざまな工夫や偶然にできた形や色から発想したり構想したりしている。 創:作者の意図が表現できるように、さまざまな技法を工夫して作品の制作に生かしている。 鑑:作品に用いられた技法やその効果に注目して鑑賞している。	関:技法の工夫から生まれる形や色に強い関心をもとうと、より一層の努力をしている。 発:さまざまな工夫や偶然にできた形や色をより深く追求し、独創的な視点をもって、発想したり構想したりしている。 創:作者の意図が表現できるように、さまざまな技法を自分なりの視点で工夫し、作品の制作に生かしている。 鑑:作品に用いられた技法やその効果について、より深く多様な視点から鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)(3)(4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の 取扱い
1	絵	写し取る形 版表現の楽しさ	14・15	<p>版表現を理解し、版に表すことのよさや楽しさを味わって制作する。</p> <p>【共】:版表現を通して形や色彩、材料などをもとに、対象のイメージをとらえる。</p>	<p>関:版による表現に関心をもつ。</p> <p>発:自然物や身近なものの形や色などから発想し、版による表現を生かして構想する。</p> <p>創:版表現の技法を理解し、効果的な表現方法を工夫する。</p> <p>鑑:版表現のよさや美しさをとらえながら鑑賞する。</p>	<p>関:版による表現に関心をもち、版表現を楽しんでいる。</p> <p>発:自然物や身近なものの形や色などから発想し、版の特性を生かして構想している。</p> <p>創:版表現の技法を理解し、効果的な表現方法を工夫して制作している。</p> <p>鑑:版表現の独特のよさや美しさをとらえて作品を鑑賞している。</p>	<p>関:版による表現に強い関心をもち、版表現を積極的に行っている。</p> <p>発:自然物や身近なものの形や色などから独創的な発想をし、版の特性を生かして表現力豊かに構想している。</p> <p>創:版表現の技法をしっかりと理解し、効果的な表現方法を工夫して高い技能で制作している。</p> <p>鑑:版表現の独特のよさや美しさを自分なりの視点で分析的にとらえて深く鑑賞している。</p>	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)(3)
1	絵・彫刻	動きを見つめて ポーズ、姿勢、動作	16・17	<p>身近な人の特徴をよく観察し、材料や表し方を工夫して表現することにより、人物のもつ動きの美しさやよさを理解する。</p> <p>【共】:身近な人の特徴をもとに形や色に注目し、材料を工夫して人物のイメージをとらえる。</p>	<p>関:人物が見せる姿勢や動作の美しさに関心をもつ。</p> <p>発:姿勢や動きのもつ美しさから発想し、表現する内容を構想する。</p> <p>創:表現するための材料や表し方を工夫し、生命感が感じられる作品を制作する。</p> <p>鑑:美しい姿勢や生命感のある動きの表現に注目して鑑賞する。</p>	<p>関:人物が見せる姿勢や動作の美しさを感じ取ったり、発見したりしようとしている。</p> <p>発:姿勢や動きのもつ美しさを感じ取って発想し、表現する内容について構想している。</p> <p>創:材料や表し方を工夫して、生命感が感じられる作品を表現している。</p> <p>鑑:美しい姿勢や生命感あふれる動きの表現に注目し、作者の意図を感じ取りながら作品を鑑賞している。</p>	<p>関:人物が見せる姿勢や動作の美しさを、独創的な視点で積極的に感じ取ったり、発見したりしようとしている。</p> <p>発:姿勢や動きのもつ美しさを独創的な視点で感じ取って豊かに発想し、表現する内容を工夫して構想している。</p> <p>創:材料や表し方をより深く追求して、生命感あふれる作品を独創的に表現している。</p> <p>鑑:美しい姿勢や生命感あふれる動きの表現に深く注目し、作者の意図を感じ取りながら自分の見方をしっかりとって鑑賞している。</p>	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア (2)(3)
1	彫刻	彫刻動物園 生き生きとした立体に表す	18～21	<p>動物の特徴をとらえ、彫刻に表現したり、楽しく展示したりすることにより、立体造形や展示空間の表現のおもしろさ、楽しさを味わう。</p> <p>【共】:形や色、材料を工夫して、生き生きとした動物のイメージをとらえる。</p>	<p>関:立体に表現するよさや楽しさ、美しさに関心をもつ。</p> <p>発:動物の姿を観察することから発想し、生き生きとした表現を構想する。</p> <p>創:表現の意図に適した材料や道具を選び、その特徴を生かして制作する。</p> <p>鑑:作者の意図や作品の展示方法に注目して鑑賞する。</p>	<p>関:動物のもつ楽しさや美しさを感じながら、楽しく立体に表現している。</p> <p>発:動物の姿勢を観察することにより、動物のもつ美しさや楽しさを感じ取って発想し、生き生きとした表現の構想を練っている。</p> <p>創:表現の意図に適した材料や用具を効果的に活用し、創造的に表現している。</p> <p>鑑:作者の意図や作品の展示方法に注目して鑑賞している。</p>	<p>関:動物のもつ楽しさや美しさを感じながら、独自の視点で積極的に楽しく生き生きとした立体表現をしている。</p> <p>発:動物の姿勢をより一層注意深く観察することにより、動物のもつ美しさや楽しさを深く感じ取って発想し、独創的な表現の構想を練っている。</p> <p>創:表現の意図に適した材料や用具を十分効果的に活用し、独創的、創造的に表現している。</p> <p>鑑:作者の意図や作品の展示方法に独自の視点で注目し、深く鑑賞している。</p>	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、イ (2)(3)(4)
1	デザイン	生活を豊かに 形や色、文字のデザインを工夫して	22～25	<p>身近なものの形や色に注目してよさや美しさ、楽しさを味わい、デザインすることの意味や効果について考えとともに、相手にわかりやすく伝えることを学習する。</p> <p>【共】:身のまわりのものを観察し、デザインにおける形や色、材料などをもとに、視覚伝達についてイメージをとらえる。</p>	<p>関:身近なものの形や色、文字などのデザインについて関心をもつ。</p> <p>発:身近なものを観察することから発想し、効果的なデザインを構想する。</p> <p>創:形や色、文字のデザインについて理解し、それらを工夫して表現に生かす。</p> <p>鑑:デザインが日常生活にどのように役立っているのかを考えながら鑑賞する。</p>	<p>関:身近なものの形や色、文字などのデザインについて興味や関心をもっている。</p> <p>発:身近なものを観察することから発想し、効果的なデザインを構想している。</p> <p>創:形や色、文字のデザインについて理解し、それらを工夫して表現に生かしている。</p> <p>鑑:デザインが日常生活にどのように役立っているのかを考えながら鑑賞している。</p>	<p>関:身近なものの形や色、文字などのデザインについて強く興味や関心をもっている。</p> <p>発:身近なものを積極的に観察することから独創的な発想をし、より一層効果的なデザインを構想している。</p> <p>創:形や色、文字のデザインについて理解し、それらを独自の視点から工夫して美しい表現に生かしている。</p> <p>鑑:デザインが日常生活にどのように役立っているのかを考えながら、さまざまな視点から鑑賞している。</p>	A表現(2)ア、イ、ウ (3)ア、イ／B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)(4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の 取扱い
1	工芸	お気に入りの 囲まれて 木や土の工芸	26～29	土や木などの自然素材のよさを味わいながら日常生活に活用できる工芸作品を制作・鑑賞することにより、用の美について理解する。 〔共〕:土や木などの素材のもつ形や色、材料の特徴などをもとに、身のまわりの工芸品についてイメージをとらえて制作する。	関:日常生活で使用される工芸品のデザインのよさや美しさに関心をもつ。 発:素材から発想し、用途を考えながら作品の構想を練る。 創:土や木など素材の特徴を生かし、表現方法を工夫して制作する。 鑑:使いやすさや素材を生かした美しさを考えながら鑑賞する。	関:日常生活で使用される工芸品のデザインのよさや美しさに関心をもっている。 発:素材の特徴を踏まえて発想し、用途を考えながら作品の構想を練っている。 創:土や木など素材の特徴を生かした制作方法を考えて、表現技法を工夫している。 鑑:使いやすさや素材を生かした美しさを考えながら鑑賞している。	関:日常生活で使用される工芸品のデザインのよさや美しさに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:素材の特徴を踏まえて独創的な発想をし、用途を考えながら構想を練っている。 創:土や木など素材の特徴にあった制作方法を考え、意図に合った適切な表現技法を工夫して美しく表現している。 鑑:使いやすさや素材を生かした美しさ、作者の意図や使う人の気持ちを考えながら鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、エ(2)(3)
1	デザイン	変化させる 絵 動きや光を使って	30・31	変化させる絵の仕組みを理解し、動きや変形のおもしろさを生かして表現する。 〔共〕:形や色彩、材料、光の性質を生かして、変化させる絵をイメージ豊かに表現しながら制作する。	関:形や色、光の性質を利用して変化したり動いたりする表現や光の性質を使った作品などに関心をもつ。 発:形や色、光の性質をもとに発想し、形や色の変化が生み出す効果や美しさを考えて構想する。 創:形や色が変化する仕組みを理解し、創造的な技法を考えて制作する。 鑑:変化や動きのおもしろさ、美しさに注目して鑑賞する。	関:形や色、光の性質を利用して変化したり動いたりする表現や光の性質を使った作品などに関心をもっている。 発:形や色、光の性質をもとに発想し、形や色の変化が生み出す効果や美しさを考えて表現を構想している。 創:形や色が変化する仕組みを理解し、創造的な技法を考えて制作している。 鑑:変化や動きのおもしろさ、美しさに注目して鑑賞している。	関:形や色、光の性質を効果的に利用して変化したり動いたりする表現や光の性質を使った作品などに強い関心をもっている。 発:形や色、光の性質をもとに独創的に発想し、形や色の変化が生み出す効果や美しさを考えて独自の表現を構想している。 創:形や色が変化する仕組みを理解し、創造的な技法を独自の視点から考えて表現方法を工夫して制作している。 鑑:変化する仕組みや光の性質を考えながら、変化や動きのおもしろさ、美しさに注目して深く鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)イ、ウ(2)(3)(4)
1	鑑賞／絵	主役を探そう 2枚の絵を見比べよう	32・33	2枚の絵画作品について作品全体の構図や描かれている内容などを比較しながら意味を考えることにより、より深い鑑賞活動を行い、鑑賞の楽しさやおもしろさを味わう。 〔共〕:作品を比較しながら、形や色彩などに着目し、作品のもつイメージをとらえる。	関:作品を比較する鑑賞の学習に取り組む。 発:作者の心情や意図を考えながら作品をもとに発想する。 創:作品の中に使われている表現技法などを理解する。 鑑:美術作品を比較し、感じたことなどを互いに話し合ったり、説明し合うなどして作品のよさを考える。	関:作品を比較する鑑賞の学習に取り組んでいる。 発:作者の心情や意図を考えながら作品をもとに発想し、構想している。 創:作品の中に使われている表現技法などを理解している。 鑑:美術作品を比較し、感じたことなどを話したり説明するなどして作品のよさを考えて鑑賞している。	関:作品を比較する鑑賞の学習に意欲的に学習に取り組んでいる。 発:作者の心情や意図を考えながら作品をもとに独自の視点から発想し、構想している。 創:作品の中に使われている表現技法などをよく理解し、今後の制作に生かそうとしている。 鑑:美術作品を比較し、感じたことなどを積極的に話したり説明したりして、作品のよさを考えて深く鑑賞している。	A表現(1)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)
1	鑑賞／絵／デザイン・工芸	美しさの交流 自分の見方を大切に	34～37	作品や身近なものを鑑賞し、そのよさや美しさについて感じたことを友達と説明し合ったり、話し合ったりする活動を通して鑑賞活動を深め、展示することの大切さや美術による交流の楽しさやよさを理解する。 〔共〕:形や色彩、材料などに着目しながら作品のもつイメージをとらえる。	関:美術作品や身近なもののよさや美しさについて、話し合ったり発表し合ったりすることに興味・関心をもつ。 発:作品のもつよさや美しさから発想し、表現し伝えようとする主題について構想する。 創:作品のよさや美しさを生かした伝え方や見せ方を工夫する。 鑑:美術作品やその展示の意図について話し合い、見方や感じ方を広げて鑑賞する。	関:美術作品や身近なもののよさや美しさについて、話し合ったり発表し合ったりすることに興味・関心をもっている。 発:作品のもつよさや美しさから発想し、表現し伝えようとする主題について構想している。 創:作品のよさや美しさを生かした伝え方や見せ方を工夫している。 鑑:美術作品やその展示の意図について話し合い、見方や感じ方を広げて鑑賞している。	関:美術作品や身近なもののよさや美しさについて、積極的に話し合ったり発表し合ったりすることに強い興味・関心をもっている。 発:作品のもつよさや美しさから独自の視点で発想し、表現し伝えようとする主題について構想している。 創:作品のよさや美しさを生かした伝え方や見せ方を高度なレベルで工夫している。 鑑:美術作品やその展示の意図について積極的に話し合ったり発表したりし、見方や感じ方をいっそう広げて鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)イ、エ(2)(3)(4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の 取扱い
1	鑑賞／絵・工芸	隣の国々アジア 見る、知る、交流する	38・39	アジアの文化遺産やアジア各国の生徒作品を鑑賞し、アジアの文化や歴史に興味・関心をもち、各国への理解を深め、国際理解における美術の役割を考える。 【共】:アジア各国の作品のもつ形や色彩、材料などに着目し、対象のもつイメージをとらえる。	関:アジア各国の美術や文化に関心をもち、国際理解を深める。 発:アジアの美術の中から美しい形や色を見つけ、発想・構想につなげる。 創:アジア各国の作品がもつ形や色などを生かして表現する。 鑑:アジアの文化遺産や生徒作品を鑑賞し、それぞれの特徴やよさ、共通点や違いなどを説明する。	関:アジア各国の美術や文化に関心をもち、国際理解に意欲をもっている。 発:アジアの美術の中から美しい形や色を見つけ、発想・構想につなげている。 創:アジア各国の作品がもつ形や色などを生かして表現している。 鑑:アジアの文化遺産や生徒作品を鑑賞し、それぞれの特徴やよさ、共通点や違いなどを説明して鑑賞している。	関:アジア各国の美術や文化に強い関心をもち、国際理解に強い意欲をもっている。 発:アジアの美術の中から美しい形や色を見つけ、独創的な発想・構想につなげている。 創:アジア各国の作品がもつ形や色などを生かし、創意工夫して表現している。 鑑:アジアの文化遺産や生徒作品を鑑賞し、多様な角度からそれぞれの特徴やよさ、共通点や違いなどを鑑賞し、自分の言葉で説明している。	A表現(1)ア、イ(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)(3)(4)
1	デザイン	私の歩み 作品集をデザインする	40・41	発想や構想段階の記録も含めた作品集を制作し、美術における成長や進歩を確認し、今後の学習活動につなげる。 【共】:自分がつくってきた作品の形や色彩、材料や光の効果などに着目し、作品のもつイメージをとらえる。	関:自分の学習のまとめや作品の記録に取り組み、自分の成長や進歩に関心をもち。 発:自分の作品集について、これまでの活動を振り返りながら発想し、まとめ方を構想する。 創:作者の意図が伝わりやすい、見やすいデザインを工夫して制作する。 鑑:それぞれの成長を伝える発表を行うとともに、作者の意図や表現の工夫を相互に鑑賞し合う。	関:自分の学習のまとめや作品の記録に取り組み、自分の成長や進歩に関心をもち。 発:自分の作品集について、これまでの活動を振り返りながら発想し、まとめ方を構想している。 創:作者の意図が伝わりやすい、見やすいデザインを工夫して作品集を制作している。 鑑:それぞれの成長を伝える発表を行うとともに、作者の意図や表現の工夫を相互に鑑賞し合っている。	関:自分の学習のまとめや作品の記録に意欲的に取り組み、自分の成長や進歩に関心をもち楽しく活動している。 発:自分の作品集について、これまでの活動を振り返りながら独創的に発想し、構想している。 創:作者の意図が伝わりやすい、見やすいデザインを工夫して独創的で質の高い作品集を制作している。 鑑:それぞれの成長を伝える発表を積極的に行うとともに、作者の意図や表現の工夫を相互に楽しく鑑賞し合い、今後の学習につなげようとしている。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、イ、ウ(2)(3)(4)
1	鑑賞	のぞいてみよう、美術館	42・43	美術館での鑑賞活動について理解し、興味・関心をもち。 【共】:所蔵作品の形や色彩、材料、展示空間の光の効果を感じたり、ワークショップに参加したりして対象のイメージをとらえる。	関:美術館の役割や活動を理解し、興味・関心をもち。 鑑:美術館の作品や活動について話し合うなどして美術館のおもしろさやよさを知る。	関:美術館の役割や活動を理解し、興味・関心をもち。 鑑:美術館の作品や活動について話し合うなどして美術館のおもしろさやよさを知ろうとしている。	関:美術館の役割や活動をよく理解し、強い興味・関心をもち。 鑑:美術館の作品や活動について楽しく積極的に話し合うなどして美術館のおもしろさやよさを自ら知ろうとしている。	B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)
1	資料	Let's try!	44・45	鉛筆の使い方や発想のしかたの例など造形活動をする上での基礎・基本を学習し、さまざまな表現につなげる。 【共】:形や色彩、材料などを理解し、対象のイメージをとらえるための基本を学ぶ。				A表現(3)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、ウ
1	資料	道具箱	46・47	道具の基本的な使い方について学習し、さまざまな表現につなげる。 【共】:形や色彩、材料などを理解し、対象のイメージをとらえるための基本を学ぶ。				A表現(3)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	鑑賞	色彩ホーム ページ	48・49	美術の基礎・基本の一つである色彩について体系的に学習する。 【共】:色彩や光の性質などを理解し、対象のイメージをとらえるための基本を学ぶ。				A表現(3)ア、イ／ B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	
2・3	鑑賞	教科書美術 館へようこそ 美術作品を鑑賞しよう	3～7	二つの作品を鑑賞し、それぞれの表現方法の特徴や違い、作者の意図などを考えながら、鑑賞の楽しさを味わい、日本と西洋の美術のよさや表し方の違いについて興味・関心をもつ。 【共】:作品を比較しながら、形や色彩、光の効果などに着目しながら作品のもつイメージをとらえる。	関:それぞれの作品の特徴をとらえながら鑑賞し、日本と西洋の美術のよさや表し方の違いについて興味・関心をもつ。 鑑:作品の特徴や作者の意図、作品から得た印象などを互いに批評し合うなどして鑑賞する。	関:それぞれの作品の特徴をとらえながら鑑賞し、日本と西洋の美術のよさや表し方の違いについて興味・関心をもっている。 鑑:作品の特徴や作者の意図、作品から得た印象などを批評し、友達の意見を聞くなどして鑑賞している。	関:それぞれの作品の特徴をとらえながら意欲的に鑑賞し、日本と西洋の美術のよさや表し方の違いについて強い興味・関心をもっている。 鑑:作品の特徴や作者の意図、作品から得た印象などを独自の視点で的確に批評し、友達の意見を注意深く聞くなどして創造的に鑑賞している。	B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)
2・3	鑑賞	美術のちから 心豊かに、生きる喜び	8・9	共同制作を行ったり、作品を校内や地域に展示、発表したりすることによって、美術と生活とのつながりについて学習する。 【共】:形や色彩、材料、光の効果などに着目し、イメージをとらえながら交流を通して美術の可能性について考える。	関:地域や学校生活に価値をもつ「美術のちから」について関心をもつ。 鑑:美術を通した活動が地域や学校生活にどのような効果があるのかを考えながら鑑賞する。	関:地域や学校生活に価値をもつ「美術のちから」について関心をもっている。 鑑:美術を通した活動が地域や学校生活にどのような効果をもたらしているのかを考えながら鑑賞している。	関:地域や学校生活に価値をもつ「美術のちから」について強い関心をもっている。 鑑:美術を通した活動が地域や学校生活にどのような効果をもたらしているのかを考えながら、意欲的に鑑賞している。	B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、ウ、エ (2)(3)(4)
2・3	絵	風景が語るもの 道に思いを込めて	10～13	道を題材にして、視点の置き方や構図、色彩などを工夫して、作者のイメージする風景画を制作する。 【共】:形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のもつイメージをとらえる。	関:物語性のある風景画や、それぞれが気になる風景に関心をもつ。 発:気になる風景から表現することを発想し、構図などを考えて構想する。 創:奥行きや光の効果などを考えながら省略や強調などの表現方法を工夫する。 鑑:作者が作品に込めた思いや表現の工夫を味わう。	関:物語性のある風景画や、それぞれが気になる風景に関心をもっている。 発:気になる風景から表現することを発想し、構図などを考えて構想している。 創:奥行きや光の効果などを考えながら省略や強調などの表現方法を工夫している。 鑑:作者が作品に込めた思いや表現の工夫を味わって鑑賞している。	関:物語性のある風景画や、それぞれが気になる風景に強い関心をもって意欲的に活動している。 発:気になる風景から表現することを独創的に発想し、構図などを考えて心情豊かに構想している。 創:奥行きや光の効果などを考えながら省略や強調などの表現方法を効果的に工夫し、主体的に表現している。 鑑:作者が作品に込めた思いや、表現の工夫をよく味わって積極的に鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1) ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、イ (2)(3)(5)
2・3	絵	奥行きの表現 遠近法の仕組み	14・15	絵画における遠近法や奥行きの表現方法について理解し、今後の学習活動に生かす。 【共】:形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のもつイメージをとらえて表現する。	関:遠近法や奥行きの表現についてさまざまな方法に関心をもつ。 発:対象をよく観察し、奥行きの表現をもとに発想・構想する。 創:主題にふさわしい遠近法や奥行きの表し方について工夫して表現する。 鑑:さまざまな遠近法における遠近感や奥行きの表現方法について意識しながら鑑賞する。	関:遠近法の奥行きの表現についてさまざまな方法に関心をもっている。 発:対象をよく観察し、奥行きの表現をもとに発想し、構想している。 創:主題にふさわしい遠近法や奥行きの表し方について工夫して表現している。 鑑:さまざまな遠近法における遠近感や奥行きの表現方法について意識しながら鑑賞している。	関:遠近法の奥行きの表現についてさまざまな方法に強い関心をもっている。 発:対象を注意深く観察し、奥行きの表現をもとに積極的に発想し、構想している。 創:主題にふさわしい遠近法や奥行きの表し方についてさまざまな角度から工夫して積極的に表現している。 鑑:さまざまな遠近法における遠近感や奥行きの表現方法について自分なりの視点をもって見方を工夫し、鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1) ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
2・3	絵・彫刻	自分探しの旅 自分と出会う	16～19	さまざまな表現方法を用いて自画像を制作することにより、自分の特徴をとらえ、自分自身を見つめ直す。 【共】: 自画像がもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。	関: 自画像として自分自身を表現することに興味・関心をもつ。 発: 自分自身とよく向き合うことから発想し、構想する。 創: 自分自身を表現する最適な表現方法について、技法などを工夫する。 鑑: 作者の表現意図や主張などを考えながら作品を鑑賞する。	関: 自画像として自分自身を表現することに興味・関心をもっている。 発: 自分自身とよく向き合うことから発想し、構想している。 創: 自分自身を表現する最適な表現方法について、技法などを工夫して表現している。 鑑: 作品について批評活動を行うなどして、作者の表現意図や主張などを考えながら作品を鑑賞している。	関: 自画像として自分自身を表現することに強い興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発: 自分自身とよく向き合うことから独自の視点で発想し、主体的に構想している。 創: 自分自身を表現する最適な表現方法について、さまざまな技法などを積極的に取り入れ、工夫して表現している。 鑑: 作品について批評活動を積極的に行うなどして、作者の表現意図や主張などを自分の言葉で考えながら深く作品を鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、ウ(2)(3)
2・3	絵	描かれた人が語るもの 人物画からの発見	20～23	人物を主題とした絵画作品を鑑賞し、人物画のもつよさを味わい、人物画について興味・関心をもつ。 【共】: 人物画がもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。	関: 人物を主題とした絵画作品について興味・関心をもっている。 発: 人物を深く見つめ、表現の主題をとらえて発想・構想する。 創: 主題や意図に合った材料や技法などを工夫して効果的に表現する。 鑑: 人物のとらえ方や表現方法の違いなどを考えながら鑑賞する。	関: 人物を主題とした絵画作品について興味・関心をもっている。 発: 人物を深く見つめ、表現の主題をとらえて発想・構想している。 創: 主題や意図に合った材料や技法などを工夫して効果的に表現している。 鑑: 人物のとらえ方や表現方法の違いなどを考えながら作品を鑑賞している。	関: 人物を主題とした絵画作品について強い興味・関心をもっている。 発: 人物を独自の視点で深く見つめ、表現の主題をとらえて発想・構想している。 創: 主題や意図に最適な材料や技法などを独自の視点から工夫して、効果的に表現している。 鑑: 人物のとらえ方や表現方法の違いなどを多様な視点から考えながら、深く作品を鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)
2・3	絵・彫刻	驚きの世界へ 形や色のトリック	24～27	想像力を働かせて錯視やトリックの効果などを利用し、あり得ない不思議な世界を表現し、トリックアートの楽しさを味わう。 【共】: トリックアートがもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のもつイメージをとらえて表現する。	関: 錯視やトリックの効果を生かした表現に興味・関心をもつ。 発: だまし絵などのイメージや錯視、トリックの効果などから不思議な世界を発想し、構想する。 創: 表現意図にふさわしい錯視などの技法を活用し、工夫する。 鑑: 錯視などの仕組みや技法、作品の意味を考えながら、よさや楽しさを味わって鑑賞する。	関: 錯視やトリックの効果を生かした表現に興味・関心をもっている。 発: だまし絵などのイメージや錯視、トリックの効果などから不思議な世界を発想し、構想している。 創: 表現意図にふさわしい錯視などの技法を活用し、工夫している。 鑑: 錯視などの仕組みや技法、作品の意味を考えながら、よさや楽しさを味わって鑑賞している。	関: 錯視やトリックの効果を生かした表現に強い興味・関心をもっている。 発: だまし絵などのイメージや錯視、トリックの効果などから不思議な世界を独自の視点で発想し、独創的な構想をしている。 創: 表現意図にふさわしい錯視などの技法を効果的に活用し、工夫している。 鑑: 錯視などの仕組みや技法、作品の意味を深く考えながら、よさや楽しさを多様な視点から味わって鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)イ(2)(3)(4)
2・3	絵／デザイン・工芸	伝統の美に学ぶ 日本の美術、日本の造形	28～31	日本の伝統を生かした美術のよさや美しさについて学習し、それらを生かして作品を制作する。 【共】: 日本の美術のもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえて表現する。	関: 日本のさまざまな美術のよさや美しさに関心をもつ。 発: 日本の美術がもつ独特の様式から発想し、特徴を生かして構想する。 創: 日本の美術がもつ特徴や様式、材料を生かした表現方法や技法を工夫して制作する。 鑑: 美術における日本の伝統について考えながら鑑賞する。	関: 日本のさまざまな美術のよさや美しさに関心をもっている。 発: 日本の美術がもつ独特の様式から発想し、その特徴を生かして構想している。 創: 日本の美術がもつ特徴や様式、材料を生かした表現方法や技法を工夫して制作している。 鑑: 美術における日本の伝統について考えながら鑑賞している。	関: 日本のさまざまな美術のよさや美しさに強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発: 日本の美術がもつ独特の様式から豊かに発想し、その特徴を生かして独自の視点から構想している。 創: 日本の美術がもつ特徴や様式、材料を生かした表現方法や技法を効果的に活用し、積極的に工夫して制作している。 鑑: 美術における日本の伝統について深く考えながら主体的に鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、ウ(2)(3)(4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の 取扱い
2・3	絵	伝統と改革・ 日本画 日本の風土に根 差した絵画	32・33	日本画について、主題や構図、材 料や技法も考えながら鑑賞し、よさ や美しさを味わう。 〔共〕:日本の美術がもつ形や色 彩、材料などの特徴をもとに対象の イメージをとらえて表現する。	関:日本画の特色を考えながら、よ さや美しさに関心をもつ。 発:日本画のもつ特色から発想し、 構想する。 創:日本画の材料や技法を考 えて、表現する。 鑑:日本画の特色を理解し、そのよ さについて批評しながら鑑賞する。	関:日本画の特色を考えながら、よさや 美しさに関心をもっている。 発:日本画のもつ特色から発想し、構想 している。 創:日本画の材料や技法を考 えて、表現している。 鑑:日本画の特色を理解し、そのよさにつ いて批評しながら鑑賞している。	関:日本画の特色をよく考えながら、よさや 美しさに強い関心をもち、意欲的に学習に 取り組んでいる。 発:日本画のもつ特色から独創的に発想し、 構想している。 創:日本画の材料や技法を考 えて、独自の 工夫をして表現している。 鑑:日本画の特色を理解し、そのよさにつ いて自分の言葉を使ってわかりやすく批評しな がら深く鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1) ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、 イ	(1)ウ (2)(3)
2・3	絵	モノトーンの 美しさ 水墨画の世界	34・35	水墨画について、主題や構図、技 法などを考えながら鑑賞し、よさや 美しさを味わう。 〔共〕:水墨画がもつ形や色彩、材 料などの特徴をもとに対象のイメー ジをとらえて表現する。	関:水墨画の特色を考えながら、よ さや美しさに関心をもつ。 発:水墨画のもつ特色から発想し、 構想する。 創:水墨画の材料や技法を考 えて、表現する。 鑑:水墨画の特色を理解し、そのよ さについて批評しながら鑑賞する。	関:水墨画の特色を考えながら、よさや 美しさに関心をもっている。 発:水墨画のもつ特色から発想し、構想 している。 創:水墨画の材料や技法を考 えて、表現している。 鑑:水墨画の特色を理解し、そのよさにつ いて批評しながら鑑賞している。	関:水墨画の特色を考えながら、よさや美し さに強い関心をもち、意欲的に学習に取り組 んでいる。 発:水墨画のもつ特色から独創的に発想し、 構想している。 創:水墨画の材料や技法を考 えて、独自の 工夫をして表現している。 鑑:水墨画の特色を理解し、そのよさにつ いて自分の言葉を使ってわかりやすく批評しな がら鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1) ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、 イ	(1)ウ (2)(3)
2・3	彫 刻	空間を感じ て 手や人物の形か ら抽象彫刻へ	36～39	彫刻及び彫刻が作り出す空間に 関心をもち、さまざまな素材を生か した立体を制作する。 〔共〕:彫刻作品がもつ形や材料の 特徴、光の効果などをもとに対象の イメージをとらえて表現する。	関:彫刻及び彫刻が作り出す空間に関 心をもつ。 発:彫刻及び彫刻が作り出す空間を構 成する構造を考えて発想し、素材を生か して構想する。 創:彫刻及び彫刻が作り出す空間の表 現に合った素材を生かして制作する。 鑑:立体作品及び立体作品が作り 出す空間に着目して鑑賞する。	関:彫刻及び彫刻が作り出す空間に関 心をもっている。 発:彫刻及び彫刻が作り出す空間を構 成する構造を考えて発想し、素材を生か して構想している。 創:彫刻及び彫刻が作り出す空間の表 現に合った素材を生かして制作してい る。 鑑:立体作品及び作品が作り出す空間 に着目して鑑賞している。	関:彫刻及び彫刻が作り出す空間に強い 関心をもち、意欲的に学習に取り組んでい る。 発:彫刻及び彫刻が作り出す空間を構 成する構造を注意深く考えて独創的に発想 し、素材を十分生かして構想している。 創:彫刻及び彫刻が作り出す空間の表現 に合った素材を十分生かして独創的に制作 している。 鑑:立体作品及び作品が作り出す空間に 独自の視点から着目して主体的に鑑賞して いる。	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1) ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、 イ	(1)ア (2)(3)(4)
2・3	彫 刻	人の形に込 めたもの 人体の造形	40・41	人体を主題とした彫刻作品を鑑賞 し、さまざまな表現方法の違いなど を理解し、よさや美しさを味わう。 〔共〕:人体を主題とした彫刻作品が もつ形や材料の特徴をもとに対象 のイメージをとらえて表現する	関:人体彫刻のよさや美しさ、楽し さに興味・関心をもつ。 発:人体の観察から発想し、強調 や省略などを考えて構想する。 創:意図に応じて、材料や方法を 工夫して表現する。 鑑:さまざまな表現方法における人 体彫刻のよさや美しさに着目して 鑑賞する。	関:人体彫刻のよさや美しさ、楽しさに興 味・関心をもっている。 発:人体の観察から発想し、強調や省略 などを考えて構想している。 創:意図に応じて、材料や方法を工夫し て表現している。 鑑:さまざまな表現方法における人体彫 刻のよさや美しさに着目して鑑賞してい る。	関:人体彫刻のよさや美しさ、楽しさに強い 興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組ん でいる。 発:人体を注意深く観察することから発想 し、強調や省略などを考えて独創的に構想 している。 創:意図に応じて、材料や方法を効果的に 工夫して表現している。 鑑:さまざまな表現方法における人体彫刻の よさや美しさに独自の視点で着目して主体 的に鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3) ア、イ／B鑑賞(1) ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、 イ	(1)ウ (2)(3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
2・3	デザイン	デザインする心 イラストレーションを楽しむ	42・43	視覚伝達の機能をもったイラストレーションの意味を理解し、見る人にわかりやすい、ユーモアが感じられる楽しい作品を制作する。 【共】:イラストレーションがもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえて表現する。	関:イラストレーションの表現について興味・関心をもつ。 発:ユーモアやわかりやすさ、楽しさを考えて発想し、構想を練る。 創:視覚伝達に効果的な形や色、素材を生かして、表現方法を工夫する。 鑑:イラストレーションの楽しさを味わいながら、作品を鑑賞する。	関:イラストレーションの表現について興味・関心をもっている。 発:ユーモアやわかりやすさ、楽しさを考えて発想し、構想を練っている。 創:視覚伝達に効果的な形や色、素材を生かして、表現方法を工夫している。 鑑:イラストレーションの楽しさを味わいながら、作品を鑑賞している。	関:イラストレーションの表現について強い興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:ユーモアやわかりやすさ、楽しさを考えて独創的に発想し、構想を練っている。 創:視覚伝達に効果的な形や色、素材を生かして、独自の視点で表現方法を積極的に工夫している。 鑑:イラストレーションの楽しさを味わい、視覚伝達の用途を考えながら作品を鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、ウ(2)(3)
2・3	デザイン・工芸	デザイン行動 問題を解決するデザイン	44・45	社会や身近な問題に着目し、デザインすることにより、その解決方法を考える。 【共】:デザインがもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえて表現する。	関:さまざまな社会問題を解決するための手段として、デザインに関心をもつ。 発:問題解決するために形や色を生かして発想し、構想する。 創:目的に適した検討方法や表現方法を工夫する。 鑑:問題解決のためのアイデアや伝達方法に注目して作品を鑑賞する。	関:さまざまな社会問題を解決するための手段として、デザインに関心をもっている。 発:問題解決するために形や色を生かして発想し、構想している。 創:目的に適した検討方法や表現方法を工夫している。 鑑:問題解決のためのアイデアや伝達方法に注目して作品を鑑賞している。	関:さまざまな社会問題を解決するための手段として、デザインに強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:問題解決するために形や色を生かして独創的に発想し、機能を考えて構想している。 創:目的に適した検討方法や表現方法を積極的に工夫し、独創的でわかりやすい作品を制作している。 鑑:問題解決のためのアイデアや伝達方法に注目し、主体的、創造的に作品を鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)イ、ウ(2)(3)(4)
2・3	デザイン	学校紹介プロジェクト 社会に向けて伝えるデザイン	46～49	地域や社会に学校を紹介することをテーマに、伝えたいことをわかりやすく伝達するデザインについて学習する。 【共】:デザインがもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに、わかりやすさを考えながら対象のイメージをとらえる。	関:相手にわかりやすい視覚伝達デザインに関心をもつ。 発:地域や社会に伝えたいことを伝えるために、何をすべきかを考えて発想し、構想する。 創:わかりやすく印象深く伝達するための効果的な技法を工夫する。 鑑:わかりやすく印象深い視覚伝達のデザインとはどのようなものかを考えながら鑑賞する。	関:相手にわかりやすい視覚伝達デザインに関心をもっている。 発:地域や社会に伝えたいことを伝えるために、何をすべきかを考えて発想し、構想している。 創:わかりやすく印象深く伝達するための効果的な技法を工夫して表現している。 鑑:わかりやすく印象深い視覚伝達のデザインとはどのようなものかを考えながら鑑賞している。	関:相手にわかりやすい視覚伝達デザインに強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:地域や社会に伝えたいことを伝えるために、何をすべきかを自分なりの視点でよく考えて発想し、構想している。 創:わかりやすく印象深く伝達するための効果的な技法を積極的に工夫し、主体的に表現している。 鑑:わかりやすく印象深い視覚伝達のデザインとはどのようなものかを深く考えながら、用途をきちんと考えて鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)イ、ウ(2)(3)(4)
2・3	デザイン・工芸	時代を見つめる 今を映すデザイン	50・51	近代から現代に至るデザインや工芸の流れについて学習し、デザインと社会との関連性やその意味を理解する。 【共】:デザインがもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに、用途を考えながら対象のイメージをとらえる。	関:デザインや工芸の変遷について興味・関心をもつ。 発:現代に生きる私たちの視点から機能的なものを発想する。 創:デザインの意図に合った表現方法を工夫して表現する。 鑑:社会や生活の変化とデザインが関連していることを考えながら鑑賞する。	関:デザインや工芸の変遷について興味・関心をもっている。 発:現代に生きる私たちの視点から機能的なものを発想している。 創:デザインの意図に合った表現方法を工夫して表現している。 鑑:社会や生活の変化とデザインが関連していることを考えながら鑑賞している。	関:デザインや工芸の変遷についてデザインや工芸に強い興味・関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:現代に生きる私たちの視点から機能的なものを独創性をもって発想している。 創:デザインの意図に合った表現方法を積極的に工夫し、わかりやすく表現している。 鑑:社会や生活の変化とデザインが関連していることを考えながら、デザインの意味をよく考えて主体的、創造的に鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)(3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の 取扱い
2・3	デザイン	デザインの 広がり 未来をつくるデザイン	52・53	ユニバーサルデザインや環境問題など考えたデザインについて学習し、社会におけるデザインの役割についてその意味を理解する。 【共】:デザインがもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに、用途を考えながら対象のイメージをとらえる。	関:環境や人々の暮らしに配慮したデザインに関心をもつ。 発:機能やそれを使う人の気持ちを考えて構想する。 創:デザインの意図に合った材料や技法を選択して表現する。 鑑:環境やバリアフリーといった私たちの暮らしの諸問題に対するデザインの役割について考えながら鑑賞する。	関:環境や人々の暮らしに配慮したデザインに関心をもっている。 発:機能やそれを使う人の気持ちを考えて構想している。 創:デザインの意図に合った材料や技法を選択して表現している。 鑑:環境やバリアフリーといった私たちの暮らしの諸問題に対するデザインの役割について考えながら鑑賞している。	関:環境や人々の暮らしに配慮したデザインに強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:機能やそれを使う人の気持ちを深く考え、それらを十分生かして構想している。 創:デザインの意図に合った材料や技法を的確に選択し、創造性豊かに表現している。 鑑:環境やバリアフリーといった私たちの暮らしの諸問題に対するデザインの役割について、自分なりの視点から深く考えながら主体的に鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ (3)ア、イ／B鑑賞 (1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、イ、ウ (2)(3)(5)
2・3	工芸	つくる・使う・楽しむ 素材を生かす工芸	54～57	素材のよさや美しさを生かして生活の中で使用するものを制作し、そのよさを理解する。 【共】:工芸品がもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに、実用性を考えながら対象のイメージをとらえる。	関:身近な素材を生活に生かした工芸のよさについて関心をもつ。 発:素材の特性をもとに発想し、そのよさを生かして構想する。 創:素材の特性を効果的に生かし、表現方法を工夫する。 鑑:工芸品のもつ実用的な美しさやよさを味わう。	関:身近な素材を生活に生かした工芸のよさについて関心をもっている。 発:素材の特性をもとに発想し、そのよさを生かして構想している。 創:素材の特性を効果的に生かし、表現方法を工夫している。 鑑:工芸品のもつ実用的な美しさやよさを味わって鑑賞している。	関:身近な素材を生活に生かした工芸のよさについて強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:素材の特性をもとに独自の視点から発想し、そのよさを十分生かして的確に構想している。 創:素材の特性を吟味して効果的に活用し、表現方法を十分工夫している。 鑑:工芸品のもつ実用的な美しさやよさを十分に味わい、主体的、創造的に鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ (3)ア、イ／B鑑賞 (1)ア、イ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア、エ (2)(3)
2・3	工芸	人がつくる、 技を極める 伝統を今に生かす工芸の美しさ	58～61	我が国の伝統工芸品のよさや美しさに関心をもち、作品を制作しながら用の美について理解する。 【共】:工芸品がもつ形や色彩、材料などの特徴をもとに、実用性を考えながら対象のイメージをとらえる。	関:伝統工芸品のよさや美しさに関心をもつ。 発:伝統工芸品のよさや美しさから発想し、構想を練る。 創:材料や用具の特性を生かした伝統的な技法を使って表現する。 鑑:工芸品がもつ実用性や高度な技術に支えられた美しさを鑑賞する。	関:伝統工芸品のよさや美しさに関心をもっている。 発:伝統工芸品のよさや美しさから発想し、構想を練っている。 創:材料や用具の特性を生かした伝統的な技法を使って表現している。 鑑:工芸品がもつ実用性や高度な技術に支えられた美しさについて批評するなどして鑑賞している。	関:伝統工芸品のよさや美しさに関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:伝統工芸品のよさや美しさをもとに、独自の視点から発想し、独創的な構想を練っている。 創:材料や用具の特性を十分生かし、伝統的な技法を効果的に活用して美しく表現している。 鑑:工芸品がもつ実用性や高度な技術に支えられた美しさについて、自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ (3)ア、イ／B鑑賞 (1)ア、イ、ウ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ、エ (2)(3)
2・3	絵・彫刻	平和、命、つながり 美術を通して私たちが学ぶこと	62～64	さまざまな美術作品を鑑賞し、平和への願いや命の尊さ、他者への思いやりや人とのつながりなどを考え、美術を通して学ぶ意味をもう一度考え、創造活動の幅を広げる。 【共】:形や色彩、材料、光の効果などに着目し、イメージをとらえながら美術を通して平和や命について考える。	関:心豊かに生きることと美術のかかわりについて関心をもつ。 発:私たちの生きる社会の中で平和や命、文化などについて考えたことをもとに発想・構想する。 創:主題に合った表現や表現意図に合った方法を工夫して制作する。 鑑:平和や命、人と人のつながりなど、私たちの生きる社会について考えながら、作品のよさや美しさを鑑賞する。	関:心豊かに生きることと美術のかかわりについて関心をもっている。 発:私たちの生きる社会の中で平和や命、文化などについて考えたことをもとに発想・構想している。 創:主題に合った表現や表現意図に合った方法を工夫して制作している。 鑑:平和や命、人と人のつながりなど、私たちの生きる社会について考えながら、作品のよさや美しさについて批評するなどして鑑賞している。	関:心豊かに生きることと美術のかかわりに強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:私たちの生きる社会の中で平和や命、文化などについて、独自の視点から深く考えたことをもとに主体的に発想・構想している。 創:主題に合った表現や表現意図に合った方法を独創的に工夫し、創造性豊かに制作している。 鑑:平和や命、人と人のつながりなど、私たちの生きる社会について独自の視点から考えながら、作品のよさや美しさについて自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。	A表現(1)ア、イ／ B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の 取扱い
2・3	絵	物語を描く 絵巻物の世界	65～67	我が国の伝統的な絵画表現である絵巻物を学び、そのよさや美しさを理解する。 【共】:絵巻物について形や色彩、材料、光の効果などに着目し、対象のイメージをとらえる。	関:我が国の伝統的な絵画表現である絵巻物のよさや美しさに関心をもつ。 発:絵巻物の表現の特徴から発想し、構想する。 創:絵巻物で使われている技法などを参考にして、表現意図に合うように材料や用具の活用などを工夫して表現する。 鑑:絵巻物の特徴を考えて、そのよさや美しさを鑑賞する。	関:我が国の伝統的な絵画表現である絵巻物のよさや美しさに関心をもっている。 発:絵巻物の表現の特徴から発想し、構想している。 創:絵巻物で使われている技法などを参考にして、表現意図に合うように材料や用具の活用などを工夫して表現している。 鑑:絵巻物の特徴を考えて、そのよさや美しさについて批評するなどして鑑賞している。	関:我が国の伝統的な絵画表現である絵巻物のよさや美しさに関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:絵巻物の表現の特徴から独自の視点で発想し、主体的に構想している。 創:絵巻物で使われている技法などを参考にして、表現意図に合うように材料や用具の活用などを独創的に工夫し、創造性豊かに表現している。 鑑:絵巻物の特徴を考えて、そのよさや美しさについて自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)
2・3	デザイン・工芸	江戸のデザインセンス 琳派の造形	68・69	琳派の造形の特徴を理解し、そのよさや美しさを味わい、作品の制作に生かす。 【共】:琳派について形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。	関:琳派の造形のよさや美しさを学び、日本の美術に関心をもつ。 発:琳派の表現の特徴を考えて、作品を発想・構想する。 創:材料などの特性を理解し、表現意図に合うように工夫して表現する。 鑑:琳派の特徴を考え、よさや美しさを味わう。	関:琳派の造形のよさや美しさを学び、日本の美術に関心をもっている。 発:琳派の表現の特徴を考えて、作品を発想・構想している。 創:材料などの特性を理解し、表現意図に合うように工夫して表現している。 鑑:琳派の特徴を考え、よさや美しさについて批評するなどして味わっている。	関:琳派の造形のよさや美しさを学び、日本の美術に強い関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:琳派の表現の特徴を自分なりによくとらえて、作品を独創的、創造的に発想・構想している。 創:材料などの特性をよく理解し、表現意図に合うように独創的に工夫して、創造性豊かに表現している。 鑑:琳派の特徴を考え、そのよさや美しさについて自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)(4)
2・3	絵	光がつくり出す色彩をつかまえて 印象派の絵画	70・71	光の表現方法を中心に印象派の特徴を考え、その絵画表現の美しさよさを味わい、作品の制作に生かす。 【共】:印象派の作品について形や色彩、材料、光の効果などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。	関:印象派の作品をもとに、光の表現について関心をもつ。 発:光や色彩を意識して、作品を構想する。 創:筆のタッチや絵の具の塗り方などを工夫し、光を感じさせる表現をする。 鑑:印象派の美術に理解を深め、そのよさや美しさを味わう。	関:印象派の作品をもとに、光の表現について関心をもっている。 発:光や色彩を意識して、作品を構想している。 創:筆のタッチや絵の具の塗り方などを工夫し、光を感じさせる表現をしている。 鑑:印象派の美術に理解を深め、そのよさや美しさを味わっている。	関:印象派の作品をもとに、光の表現について強い関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:光や色彩を自分なりの視点から深く意識して発想し、作品を創造的に構想している。 創:筆のタッチや絵の具の塗り方などを効果的に工夫し、創造性豊かに光を感じさせる表現をしている。 鑑:印象派の美術を自分なりの視点で深く鑑賞し、理解を深め、そのよさや美しさについて自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。	A表現(1)ア、イ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)
2・3	彫刻	願いや祈りの造形 仏像の美	72・73	さまざまな時代や種類の仏像彫刻の造形的な特徴を理解し、よさや美しさを味わう。 【共】:仏像について形や色彩、材料、光の効果などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。	関:仏像彫刻のよさや美しさに関心をもつ。 発:自分の思いや願いなどの内面を表す表現の構想を練る。 創:仏像の造形を参考に、思いや願いなどの内面を表現する。 鑑:仏像に込められた願いや思いを考えて、鑑賞する。	関:仏像彫刻のよさや美しさに関心をもっている。 発:自分の思いや願いなどの内面を表す表現の構想を練っている。 創:仏像の造形を参考に、思いや願いなどの内面を表現している。 鑑:仏像に込められた願いや思いを考えながら批評するなどして鑑賞している。	関:仏像彫刻のよさや美しさに強い関心を持ち、意欲的に学習に取り組んでいる。 発:自分の思いや願いなどの内面を表す表現の構想を独自の視点で十分に練っている。 創:仏像の造形を参考に、思いや願いなどの内面を創造性豊かに表現している。 鑑:仏像に込められた願いや思いを深く考えながら、そのよさや美しさについて自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。	A表現(2)ア、イ、ウ(3)ア、イ／B鑑賞(1)ア、イ、ウ〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
2・3	デザイン	風土を生かして 建築の新たな志向	74・75	<p>風土や環境を生かした建築のあり方について考え、作品制作などを通じて、自然とともに生きる美術について考える。</p> <p>【共】:建築について形や色彩、材料、光の効果などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。</p>	<p>関:建築物と風土や暮らしのかかわりに関心をもつ。</p> <p>発:風土を生かした私たちの暮らしを考えて作品を構想する。</p> <p>創:風土や環境を生かした建築物を参考に表現を工夫する。</p> <p>鑑:風土や環境を生かした建築物のよさや美しさを鑑賞する。</p>	<p>関:建築物と風土や暮らしのかかわりに関心をもっている。</p> <p>発:風土を生かした私たちの暮らしを考えて作品を構想している。</p> <p>創:風土や環境を生かした建築物を参考に工夫して表現している。</p> <p>鑑:風土や環境を生かした建築物のよさや美しさについて批評するなどして鑑賞している。</p>	<p>関:建築物と風土や暮らしのかかわりに強い関心もち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>発:風土を生かした私たちの暮らしを独創的にとらえ、建築のもつ意味を深く考えながら構想している。</p> <p>創:風土や環境を生かした建築物を理解し、独自の視点から想像性豊かに工夫して表現している。</p> <p>鑑:風土や環境を生かした建築物のよさや美しさを自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。</p>	A表現(2)ア、イ、ウ(3)／B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)
2・3	絵	抽象から空間の表現へ 形と色だけの世界から空間へ	76・77	<p>抽象絵画が生まれた背景やその発展の過程を学び、抽象絵画の特徴や考え方について理解する。</p> <p>【共】:抽象表現について形や色彩、材料、光の効果などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。</p>	<p>関:抽象絵画がもつテーマ性や形や色のよさや美しさなどに関心をもつ。</p> <p>発:形や色を組み合わせ、作品を構想する。</p> <p>創:自分の意図に合わせて材料や方法を工夫して表現する。</p> <p>鑑:抽象絵画のもつ特徴や表現方法の多様性を考えながら、そのよさや美しさを味わう。</p>	<p>関:抽象絵画がもつテーマ性や形や色などのよさや美しさに関心をもっている。</p> <p>発:形や色を組み合わせ、作品を構想している。</p> <p>創:自分の意図に合わせて材料や方法を工夫して表現している。</p> <p>鑑:抽象絵画のもつ特徴や表現方法の多様性を考えながら、そのよさや美しさについて批評するなどして味わっている。</p>	<p>関:抽象絵画がもつテーマ性や形や色などのよさや美しさに強い関心もち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>発:形や色を組み合わせ、独自の視点から作品を構想している。</p> <p>創:自分の意図に合わせて材料や方法を工夫し、独創的、主体的に表現している。</p> <p>鑑:抽象絵画のもつ特徴や表現方法の多様性を考えながら、そのよさや美しさを自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。</p>	A表現(2)ア、イ(3)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ (2)(3)
2・3	鑑賞	ルネサンスの美術 人間再発見と科学の時代	78・79	<p>ルネサンスの美術の特徴や意味を学習し、その造形のよさや美しさを味わう。</p> <p>【共】:ルネサンスの美術について形や色彩、材料、光の効果などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。</p>	<p>関:ルネサンスの美術について関心をもつ。</p> <p>鑑:ルネサンスの美術について学び、そのよさや美しさを鑑賞する。</p>	<p>関:ルネサンスの美術について関心をもっている。</p> <p>鑑:ルネサンスの美術について学び、そのよさや美しさについて批評するなどして鑑賞している。</p>	<p>関:ルネサンスの美術について強い関心もち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>鑑:ルネサンスの美術について、そのよさや美しさを十分に理解し、自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。</p>	B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ
2・3	鑑賞	ジャポニズム 西洋の美意識に影響を与えた日本	80・81	<p>日本美術が西洋美術に影響を与えたジャポニズムについて興味をもって学習する。</p> <p>【共】:ジャポニズムの美術について形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。</p>	<p>関:日本美術が西洋美術に影響を与えたジャポニズムについて関心をもつ。</p> <p>鑑:ジャポニズムと呼ばれる特徴のある作品について、そのよさや美しさを鑑賞する。</p>	<p>関:日本美術が西洋美術に影響を与えたジャポニズムについて関心をもっている。</p> <p>鑑:ジャポニズムと呼ばれる特徴のある作品について、そのよさや美しさについて批評するなどして鑑賞している。</p>	<p>関:日本美術が西洋美術に影響を与えたジャポニズムについて強い関心もち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>鑑:ジャポニズムと呼ばれる特徴のある作品について、そのよさや美しさを十分に理解し、自分の言葉で批評するなどして積極的に鑑賞している。</p>	B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ
2・3	鑑賞	美術を身近なものに ポップアートとその後の現代美術	82・83	<p>ポップ・アートやその後の現代美術の流れを学習し、私たちの社会と美術とのかかわりについて理解を深める。</p> <p>【共】:ポップアートやその後の現代美術について形や色彩、材料などの特徴をもとに対象のイメージをとらえる。</p>	<p>関:ポップアートやその後の現代美術の流れについて関心をもつ。</p> <p>鑑:ポップアートやその後の現代美術の作品について、その意味を考えながら鑑賞する。</p>	<p>関:ポップアートやその後の現代美術の流れについて関心をもっている。</p> <p>鑑:ポップアートやその後の現代美術の作品について、その意味を考えながら批評するなどして鑑賞している。</p>	<p>関:ポップアートやその後の現代美術の流れについて強い関心もち、意欲的に学習に取り組んでいる。</p> <p>鑑:ポップアートやその後の現代美術の作品について、その意味を考えながら積極的に学び、自分の言葉で批評するなどして深く鑑賞している。</p>	B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
2・3	鑑賞	生きることと美術 私たちにとって美術とは	84・85	現代社会における美術の意味について学習し、美術と私たちが生きていくこととの関係について理解を深める。 【共】:現代社会のに存在する美術の形や色彩、材料などの特徴をもとにイメージをとらえ、美術の意味について考える。	関:現代社会における美術の意味について関心をもつ。 鑑:現代社会における美術の意味について学習し、私たちが生きていることと美術との関係について考える。	関:現代社会における美術の意味について関心をもっている。 鑑:現代社会における美術の意味について学習し、批評するなどして私たちが生きていることと美術との関係について考えている。	関:現代社会における美術の意味について強い関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 鑑:現代社会における美術の意味について積極的に学習し、自分の言葉で批評するなどして私たちが生きていることと美術との関係について考えている。	B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ウ
2・3	鑑賞	美術の流れ	86～88	美術史を、日本、アジア、西洋の年表に沿って体系的に学習する。 【共】:日本、アジア、西洋の美術について形や色彩、材料などの特徴をもとにイメージをとらえ、美術の歴史を総合的に理解する。				B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	
2・3	鑑賞	色彩ホーム ページ	89～91	美術の基礎・基本の一つである色彩について、我が国の色を中心に体系的に学習する。 【共】:我が国の伝統色について理解し、色彩のもつイメージをとらえるために体系的に学習する。				B鑑賞(1)ア、イ、ウ 〔共通事項〕(1)ア、イ	
2・3	鑑賞	暮らしや生活の中にある美術	92・93	美術の学習が実社会のさまざまな場面で実際に役立ち、今後の人生に必要な基礎・基本の一つであり、生きていくための大切な要素であることを理解する。 【共】:美術で学ぶ形や色彩、材料、光の性質やそこから生ずるイメージをとらえることが実社会に役立つことを理解する。	関:美術の学習について考え、美術が実社会のどのような場面で役立っているのか、関心をもって考える。 鑑:美術の学習が実社会で役立っていることについて、話し合ったり資料を鑑賞したりする。	関:美術の学習について考え、美術が実社会のどのような場面で役立っているのか、関心をもって考えている。 鑑:美術の学習が実社会で役立っていることについて、話し合ったり資料を鑑賞したりしている。	関:美術の学習について考え、美術が実社会のどのような場面で役立っているのか、強い関心をもって深く考えている。 鑑:美術の学習が実社会で役立っていることについて、自分の言葉で話し合い、深く考えたり、資料を使って美術の可能性を深く追求したりしている。	B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(3)